

令和6年（2024年）2月19日

北海道教育委員会教育長 様

北海道高等聾学校長 印

次のとおり令和5年度（2023年度）の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

(1) 重点教育目標	「個別最適な学びと協働的な学びの効果的な活用」
(2) 重点経営目標	「業務の見直し等による働き方改革の推進（生徒学生と関わる時間の確保）」

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習活動	○学ぶ喜びを実感できる授業づくりと確かな学力の育成を目指す。	生徒アンケートでは、学年毎の結果を比較分析したり、同じ傾向の集団に着目して優位な特長を分析したりすることで、より多くのことが見えてくる。
改善方策	・聴覚障がいやろう・難聴者への理解の向上 ・生徒・学生の特性を踏まえた指導に関わる専門性の向上 ・教科・領域等の専門性と指導技術の向上 ・各種検査等の分析・活用の力を高め、客観的な理解に基づく実態把握 ・教科学習等も含めたあらゆる教育活動をとおして、言語概念と言語運用力の向上を図る ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導要領を踏まえた授業改善 ・ICTを効果的に活用した授業実践の充実	
キャリア教育	○自己理解を深め、進路や自己実現への意識を高める指導を実施する。	他者と共に行う体験的学習のねらいを明確に もち、指導と振り返りを重ねることがより生徒の成長に繋がる指導となる。
改善方策	・進路実現に向けて、進学や就職の情報を早期に知る ・協働的な学びを通じて、他者への理解と自己についての理解を深める ・様々な学習場面を通じて、自己選択・自己決定の力を身に付けさせていく	
服務規律	○個人情報の適切な管理による事故の防止。	改善方策等に対して、適切に取り組むことが大切である。
改善方策	・機微情報を含んだ文書の適切な取扱いの徹底（プリントアウトの必要性の吟味、持ち運びや持ち出しの場合の扱い、メール送信や郵送） ・個人情報の適切な管理を含めた服務規律の確保に関わる研修を定期的に行い、事故防止に努める	
情報発信	○地域や保護者等への情報発信の改善に取り組む。	地域資源を積極的に活用することが、合理的配慮等の体制づくりにつながる。
改善方策	・ホームページシステムの変更に合わせ、より見やすいホームページを目指す ・学校運営協議会の取組を活用し、本校についての地域の方の理解の向上を図る	
効果的な教育活動	○質の高い教育活動と効率的な働き方を推進する。	教職員の能力を最大限に発揮するためには、組織マネジメントが必要である。
改善方策	・委員会等を含む校務分掌の構成と業務分担を見直し、今日的な教育課題への組織的対応力の向上を目指す ・教材教具の適切な配置と有効活用、教育予算の計画的執行に向けた枠組みづくりを目指す ・「北海道アクションプラン」の趣旨を踏まえ、効率的な働き方を意識した質の高い教育実践に努める	
公表方法	・学校ホームページ等で公表	

3 添付書類

- (1) 令和5年度 保護者による学校評価
- (2) 令和5年度 生徒・学生による学校評価
- (3) 令和5年度 教職員による学校評価
- (4) 令和5年度 自己評価書